

祝 辞

公益財団法人
日本スポーツ協会 会長 **遠藤 利明**

このたび公益財団法人島根県スポーツ協会が創立100周年を迎えられ、その記念誌を発行される運びとなり、心よりお慶び申し上げます。

顧みますと、島根県スポーツ協会は、大正13年1月に創立され、今日まで100年もの長きにわたり、市町村体育・スポーツ協会、県内の競技団体、並びに多くのスポーツ関係団体と連携・協働し、島根県のスポーツの普及・発展に多大な貢献をされてこられました。

当協会との関わりで特筆すべきは、何と言っても岸清一先生です。岸先生は島根県が生んだ我が国近代スポーツの父と言われ、大正10年に当協会第2代会長に就任されました。以来、我が国スポーツ界発展のため情熱を惜しみなく注がれたその功績は、計り知れないものがあります。

当協会としては、岸先生のご功績に改めて感謝の意を表すとともに、今後もそのご功績を引き継ぎ、さらなるスポーツの推進に取り組んでまいります。

島根県スポーツ協会では、昭和57年の第37回国民体育大会や、2巡目として開催が予定されている令和12年の第84回国民スポーツ大会（旧：国民体育大会）の開催と、それに向けた競技力向上はもとより、総合型地域スポーツクラブやスポーツ少年団、スポーツ指導者の育成など、スポーツの基盤づくりにも積極的に取り組まれ、島根県のスポーツの統括組織として、いかなるリーダーシップを発揮されております。今日の島根県におけるスポーツ文化の礎を築いてこられた、貴協会関係者と県民の皆様方のスポーツに寄せられた深い理解と情熱に対し、深甚なる敬意を表する次第です。

ここに記念すべき100周年を迎え、島根県スポーツ界の発展の軌跡が刻まれ、時代を担う若人に引き継がれますことは、誠に意義深いことであり、かけがえのない財産になるものと確信しております。

結びに、島根県スポーツ協会が次の100年に向けて今後、益々充実・発展されますことと、関係各位のご活躍を祈念いたしまして発刊に寄せる言葉といたします。

